

2023年度 キャリアパス多様化支援セミナーⅢ 研究力アピール強化ワークショップ（第2回）
アンケート集計結果

日時：2024年1月29日（月） 15:00～17:00

場所：学术交流会館 第1会議室

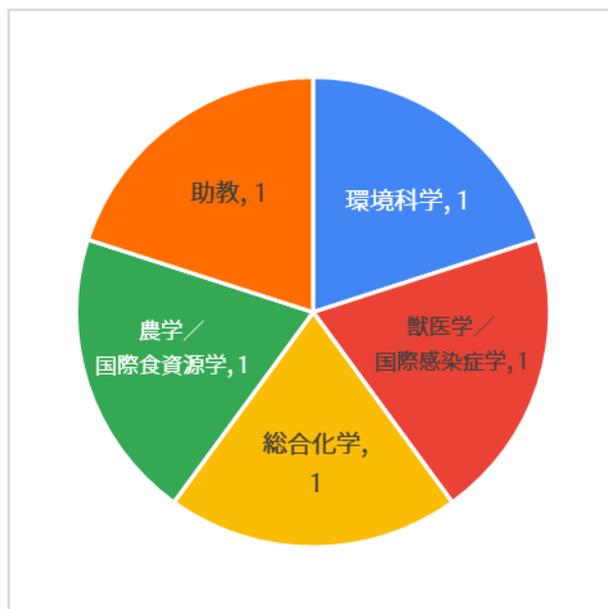
参加人数：5名（DC1 2名、DC2 2名、助教 1名）

回答数：5名

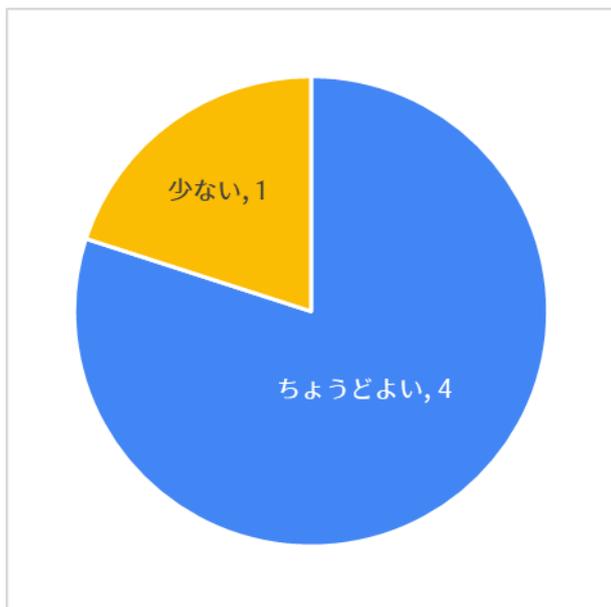
学年別



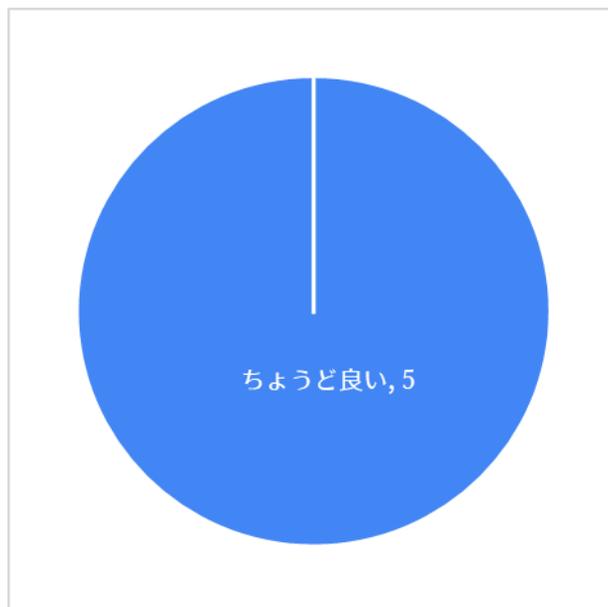
所属別



本ワークショップの実施回数（2回）はいかがでしたか。



本ワークショップの開催時間はいかがでしたか。



本ワークショップを通して学んだことを教えてください。

面接時に使用するスライドにどの部分を強調すべきかを学んだ
少人数であったため、様々なプレゼンを見られて直接フィードバックも受けられて、実践的でよかった。プレゼンの目的を理解してそれをどう表現するか、訓練をしていきたい。
研究紹介にも学会発表、サイエンスコミュニケーション、起業就活、アカデミア就活の場で内容や工夫する点をそれぞれの目的に合わせて準備する必要があることを実感できました。よく「相手や機会に合わせた発表を」という話は聞きますが、なかなか実感する機会はなかったので良い機会になりました。
採用担当の人が何を見ているかという視点を持つことが大事だと学びました。発表においては、研究結果ではなく、自分が今まで何を考えてどんなことをやってきたかを説明することが研究力のアピールになることがわかりました。
<ul style="list-style-type: none">・研究の内容よりも、研究の過程（なぜそのアプローチに至ったのか、どんなコトをしたのかなど）を重視すべしということ。・シンプルすぎるのもよくないこと（たったそれだけしかやってないと思われる）。・学会発表のように、スライドに書いてある事柄をすべて説明する・しゃべる必要はなく、しっかり”話す”場所と”見せるだけ”の場所をうまく使いこなして、3分間で伝えきること。・学会での発表、市民向けの発表そして面接での発表はそれぞれ大きく異なることを、頭だけでなく実感として分かったこと。・面接官が研究発表を通じてどこに興味があって、どこに興味がないのか何となくでも分かったこと。

本ワークショップは今後どのように変えていけばよいと思いますか。

第一回から第二回のワークショップへの間が少し長いと感じた
正解は無く、各々考えて工夫することが大切かとは思いますが、理想のプレゼンは何かがやや分かりにくかったので、個別フィードバックがより多いと理解しやすく改善できてよかったです。
第二回目では自身の発表前に資料に対するフィードバックをいただきましたが、これはオンライン上でもできることなので事前にコメントをいただきたかったです。当日に多くみられた修正ポイントを紹介、コメントをもとに修正した資料を用いた発表、コメントと修正前後の資料を参加者同士で見せ合うなどして、より適した発表を行う能力を教授されるだけでなく自身や周囲の人たちと培う練習もできればよいと思いました。その他オンラインで実施できることは無理に対面で行う必要もないのかなとも思います。その方が第一回目との参加人数の差が小さくなり、活発なものになると考えます。
普段他人からのフィードバックを得られる機会が少ないので、グループ内で発表内容をディスカッションしてブラッシュアップする時間がもっとあれば良かったなと思いました。
受講者が6(5)人しかいなかったのが寂しかった。非常に勉強になるセミナーだったのもったいなく感じた。
講師のフィードバックがとてもありがたかった。なので、受講者が増えると一人当たりのフィードバックが減ってしまうと思うので、その点は非常に難しい部分だと感じた。
前回のワークショップや今回のワークショップで、受講生同士のフィードバックが行われたがこのフィードバックがむしろ頭を混乱させてしまうのではないかと思った。今回受講してみて感じた私の所感は、「面接での研究発表とは全く異なる」である。受講生の多くが学会での研究発表しか体験していないだろう中でのフィードバックなので、そのフィードバックを忠実に受け止めると、より学会の研究発表に近いプレゼンになってしまうように思った。その点でも、第2回のワークショップに参加できてよかった。

その他感想や弊センターへの意見、要望があればご記入ください。

今回のプレゼンを改善したものを、さらに添削していただく機会はあるのでしょうか。個別面談等で見ていただけようでしたら、幸いです。

オンラインでの研究発表と比べて今回の対面での発表は、みんな相当緊張しているように感じました。コロナ禍でのオンライン発表に慣れている学生が多いのかもしれません。オンラインと対面での研究発表で工夫すべきポイント等が違うのであれば、そういったセミナーがあってもいいのかもしれません。